

# Glocal Tenri



3

月刊 **グローバル天理** Monthly Bulletin Vol.14 No.3 March 2013

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

## CONTENTS

- ・ 巻頭言  
雌松雄松のへだてなく  
／深谷忠一 ..... 1
- ・ 天理教海外伝道の資料 (37)  
満州伝道関連史料 [21]  
／深川治道 ..... 2
- ・ 天理教伝道史の諸相 (15)  
岡山、広島、山口の天理教  
／早田一郎 ..... 3
- ・ 「おふでさき」の有機的发展 (11)  
第二号：第十三首～第四十七首  
／深谷耕治 ..... 4
- ・ フランスで育つ日本人の子供たちへの  
日本語教育 (3)  
天理日仏文化協会こども日本語講座の  
取り組み③  
／田中久代 ..... 5
- ・ 「いのち」をつなぐ一生死の現象 (15)  
死をどのように考えてきたのか⑥  
／堀内みどり ..... 6
- ・ ノーマライゼーションへの道程 (13)  
バリアフリーとまちづくり  
／八木三郎 ..... 7
- ・ 福島第1原発の放射能漏れ事故がもたらした想定外?の波紋 (6)  
手抜き作業から見えてきた除染問題の  
難しさ  
／佐藤孝則 ..... 8
- ・ English Summary ..... 10
- ・ おやさと研究所ニュース ..... 11  
「教学と現代9」(海外伝道特別講座) 報告：第1  
回／平成25年度公開教学講座開催のお知らせ

## 巻頭言

### 雌松雄松のへだてなく

おやさと研究所長 深谷忠一 *Chuichi Fukaya*

「紳士の国に大ショック」と報道されたマーガレット・サッチャーのイギリス首相就任より34年。この間、世界の多くの国で女性の宰相が誕生しましたが、昨年暮れには、日本よりも男性社会だといわれるお隣の韓国でも、女性の朴槿恵(パク・クネ)が大統領に選出されました。

現在世界には、女性が大統領の国が、アルゼンチン、韓国、コソボ、コスタリカ、ブラジル、マラウイ、リベリア、リトアニアの8カ国。女性が首相の国が、アイスランド、オーストラリア、サンマリノ、ジャマイカ、スイス、タイ、デンマーク、ドイツ、トリニダード・トバコ、バングラデシュの10カ国あります。

また、宰相以外にも、アメリカの国務長官として活躍したヒラリー・クリントンやコンドリーザ・ライス、IMF専務理事のクリスティヌ・ラガルド、ミャンマーのアウン・サン・スー・チーなど、世界に名を知られた女性のリーダーが存在します。

さらには、民間企業でも、IBMのバージニア・ロメッティ社長兼CEO、ペプシコのインドラ・ノイ会長兼CEO、ヒューレッド・パッカードのメグ・ホイットマン社長兼CEO、クラフトフーズのアイリーン・ローゼンフェルド会長兼CEO、デュボンのエレン・クルマン会長兼CEO、フェイスブックのシェリル・サンドバーグCOO、ヤフーのメリッサ・マイヤーCEOなど、業界を代表する有名なグローバル企業で、女性の経営者が活躍しています。

それに比して日本では、スポーツ界ではなでしこジャパンの澤穂希キャプテンのような存在もありますが、政界や経済界では世界に知られる女性のリーダーは数人を除いてほとんどいません。昨年末の総選挙の結果を見ても、女性議員の数が54人から38人に減少し、その比率7.9%というのは、世界185カ国中の162位です。また、日本の民間企業でも、女性役員の比率は欧米諸国の10～20%はおろか、中国や韓国よりもずっと低い1%ほどで、先進国・新興国の中でも最低レベルだといわれています。また、世界経済フォーラムが昨年発表した「世界男女格差年次報告書」

においても、政治、経済、健康、教育の4分野での女性の参画度を示す順位が、日本は調査対象の135カ国中101位だとされている有様。こうした政治家や各種法人・企業の管理職などの指導的地位にいる女性の比率が著しく低いことが、世界での日本の評価を押し下げているといわれるのです。

それでは、そもそもなぜ日本には女性のリーダーが育たないのか? その理由として考えられるのは、明治末期から大正期に、政府が婦人解放運動への牽制をするために、地方の名望家などを代表とした各種の婦人会の結成を奨励し、女性の活動を婦人会の枠の中に押し込めてしまったこと。そして、昭和に入ると、国防婦人会などが「銃後支援…男は国を守り、女は家庭を守る」という思想を定着させ、婦人が社会の中核で活躍する機会を減じてしまったことです。そして、さらには、それらの動きに対抗して女性解放を推進しようとした活動が、イデオロギーの対立と結びついてしまい、男女同権を語る者は左派的だとみなされたことが、真の女性リーダーが育つ芽を摘んでしまったのです。

さて、ところで、天理教にも婦人会が存在しますが、「おさしづ」(原典)に、「男女言わん。男ばかりやない、女にもある。どういふ重い役持たすや分からん。」(M28・11・6)とあり、また、「一時女、婦人会として始め掛け。…婦人会という道聞き分けて、今日は一つ、埋もれへ切つてあるという。」(M31・3・25)とあるように、それは、埋もれた女性の人材を引き出すためのものです。「おふでさき」(原典)にも「めまつをまつ(女松男松)わゆはんでな」(ふ7:21)といわれるように、女性を別個に囲いこむのではなく、女性にも男性同様に重責を担わせるために婦人会が組織されたのです。

世界人口の半分は女性。政界や経済界だけでなく、宗教界や教育界においても、優秀な女性をどんどん組織の中核に据えて、新たな視点を加えて世直りを推進して行くことが、今の日本にも求められているのではないかと思う次第です。